

# 愛は南から

愛南町の持つ魅力をご紹介します。  
地域の情報など気軽に  
お寄せください。



プロの競艇選手を引退し、愛南町外泊地区で遊漁船の船長をはじめた松村賢一さんをご紹介します。

松村さんは山口県出身、昨年8月まで競艇選手として活躍、16年間で通算約700勝を挙げていました。小さい頃から釣りが大好きで、現役時代にもたびたび愛南町へ磯釣りに訪れていたそうです。約1年半前に愛南町に移住、周囲の協力を得て、このたび念願の遊漁船「まつけん丸」が完成、外泊漁港で進水式を行いました。

「ここまでこぎつけたのは愛南町の皆さんのお陰。まだまだ未熟者ですが、今までの磯釣り経験を生かし、お客様の気持ちが一番に、今までにないオリジナルな遊漁船にしたい」と意気込みを語っていただきました。



## 編集後記

今月号では、愛なんうまいもんコンテストや愛なん料理レシピ、高校生の食育教室、僧都小学校のひがしやま作りと料理に関する記事を多く掲載しました。中でも、うまいもんコンテストグランプリの「熱アツ！プリさつま」を食べることができなかったのは残念です。機会があればぜひ味わってみたいと思います。

さて、僧都小学校の子ども達が挑戦した「ひがしやま」作り。私が子どもの頃にもあったお菓子で、とても懐かしく取材させていただきました。ただ、もっと白っぽくて硬いイメージがあったのですが、子ども達がつくっていたものは、赤っぽくて柔らかく食べやすいもので、同じ町内でも地域によって作り方が違うのかなと感じました。

昔から、何で「ひがしやま」というのだろう不思議に思っていました。インターネットで調べてみると、干してカチカチにするという意味の古い土佐弁「ひがちばる」が語源という説と、山で採れる干菓子(水分の少ない乾燥した和菓子、落雁や煎餅、八ツ橋なども含まれる)という意味の「干菓子山」が語源だという説があるようです。干し芋は全国各地にあるようですが、「ひがしやま」と呼ぶのは、南予と高知県の幡多地方だけのようです。「ひがしやま」という名称とともに後世に残して欲しい愛南の名菓です。

## 愛南町の人口

平成24年2月1日現在

世帯数	10,880 戸
人口	24,854 人
男	11,638 人
女	13,216 人

■編集・発行

愛南町役場 総務課

〒798-4196愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2420番地

TEL(0895)72-1211FAX(0895)72-1214

HP <http://www.town.ainan.ehime.jp/>

■印刷

明星印刷工業株式会社